

聖徳幼稚園への1・2年生合同の訪問活動

－ 地域の保育園・幼稚園との積極的なかわりを通して －

1. 目的と経緯

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、様々な教育活動にも制限がなされたため、ここ数年は幼保小連携活動に苦慮することが多かった。しかし、令和5年5月より新型コロナウイルス感染症の感染症法上での位置付けが「5類感染症」に移行されたことで、以前のように児童と幼稚園・保育園児とが直接交流する機会が持てるようになった。そこで、本年度一番多くの新入学児童を迎えた園と交流することにより、児童自身が成長した自分たちを実感すると共に、園児に小学校入学への期待と希望が持てる機会とすることを目的に、本活動を実施することとした。

2. 内容

- ・生活科の発展的な活動として位置づけた。
- ・1・2年生合同で実施した。(単級・少人数で普段から連携活動を行っていること、それぞれの学年での学びを活かすという趣旨を踏まえて)
- ・12月7日(木)に実施。大型貸切バスを利用し、訪問先の聖徳幼稚園に伺った。
- ・猛獣狩りゲーム、玉入れ、プレゼント渡しを行い、準備・運営は1・2年生児童が分担・協力して行った。



3. 成果と課題

<成果>

- ・園児が様々な活動を通し、本校児童とふれあうことで、富士小学校の良さを知ってもらえた。
- ・今回交流した幼稚園児のうち、7名の園児が来年度本校に入学する予定であり、幼保小連携活動の本来の目的である「円滑な小学校生活への接続」のための貴重な体験の機会を設定することができた。
- ・2年生においては、1年生以外の多くの園児を対象に、活動を準備・運営するという機会になり、指導したり配慮したりしながら活動する力を伸ばすことができた。1年生においても、2年生と協力する機会となり、2年生同様指導性を培う良い機会にもなった。

<課題>

- ・訪問先で多くの園児たちに伝えることの難しさがあったため、今回は小学校の紹介を行わなかったが、紹介があった方が小学校生活への接続により有効であった。
- ・第1回目の幼保小連携会議後に交流活動の計画を立てることとなったため、年間行事予定が出た後になってしまい、実施日の設定が難しかった。
- ・他の保育園にも同様の交流会を予定していたが、感染症の拡大防止のためできなくなった。そのため感染症が流行しやすい時期をずらすなどの対策が必要である。